

**Digicom**

Power over Ethernet Fader for XILICA Solaro Series

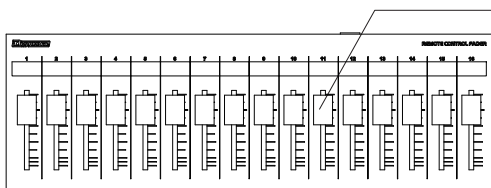
**LF16S-PoE**

## 取扱説明書

### LFシリーズの特徴

LF16S-PoEはXILICA社の「Solaro QR1/FR1」に対応した設備用コントローラーです。  
主にボリュームの調整に使用します。また、コントロールするコンポーネントをDIPスイッチにて切り替えることができます。

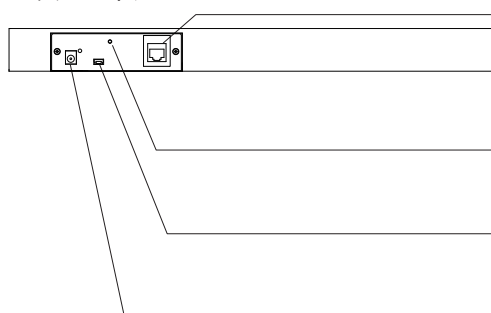
#### ■フロントパネル



##### フェーダー

16ch分のボリュームをコントロールできます。  
ボトムパネルにあるDIPスイッチで機能を切り替えることができます。

#### ■リアパネル



##### RJ45端子(PoE対応)

XILICA Solaro Seriesのコントロールデータを出力します。  
IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。  
配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

##### M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

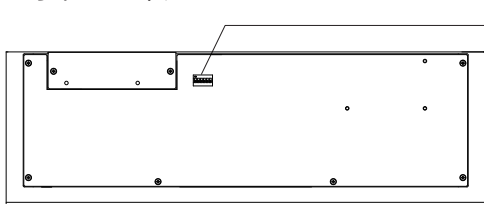
##### USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

##### DC IN端子

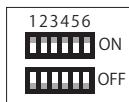
接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。  
※PoE給電を受けている場合は、ACアダプターを接続しないでください。

#### ■ボトムパネル



##### DIPスイッチ

- Solaroシリーズのコントロールコンポーネントを切り替えます。  
設定については、2ページをご参照ください。
- 1台のSolaroに対して複数台のLF16S-PoEを接続する場合は、4ページのDIPスイッチ設定をご参照ください。※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



### IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF16S-PoEフェーダーのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。  
IPアドレス192.168.0.2に設定したSolaro機器をコントロールすることができます。  
Solaro機器のIPアドレスを変更する場合はSolaro機器の取扱説明書をご参照ください。  
LF-SのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のSolaro機器のIPアドレスを変更した場合は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

### 仕 様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:10007
電源電圧	:9V / 0.3A
付 属 品	:ACアダプター
塗 装	:半艶黒
サイズ	:W410×D132×H36
重量	:2.2kg

# Solaroシリーズの設定方法

- LF-Sシリーズでは、Solaroの3種類のコンポーネントを制御することが可能です。  
制御するコンポーネントは、DIPスイッチによって変更が可能です。下記表をご確認ください。

123456  
■■■■■ ON  
■■■■■ OFF

123456  
■■■■■  
■■■■■

123456  
■■■■■  
■■■■■

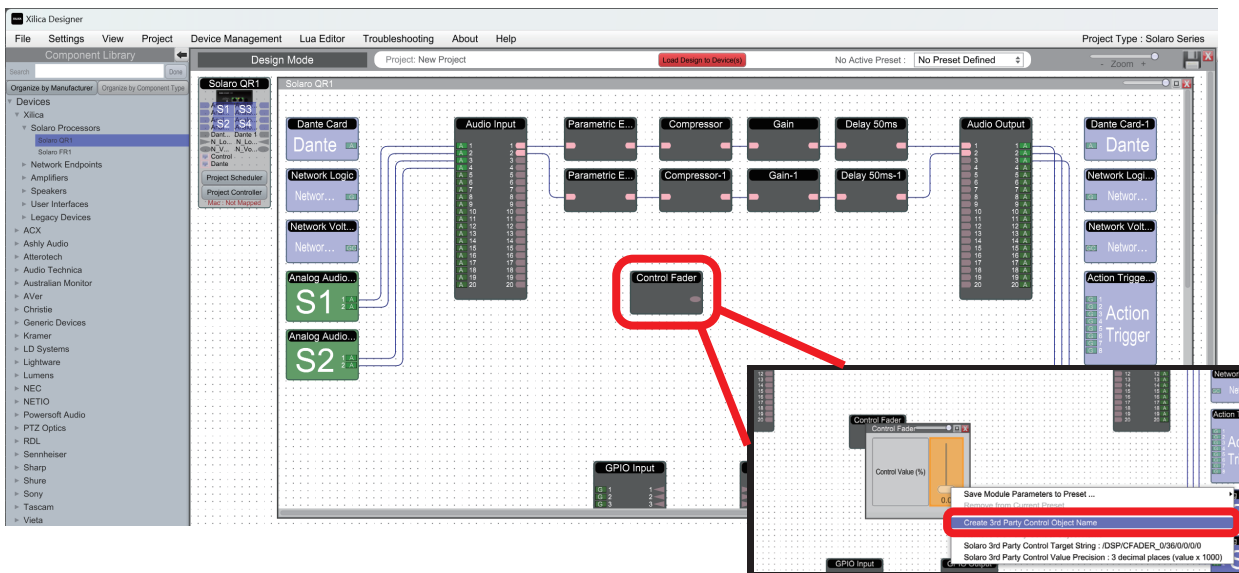
Control Fader

Voltage Controlled Amp

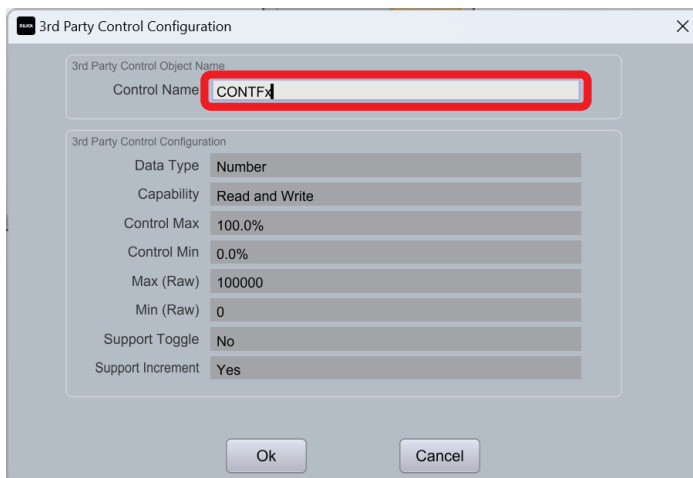
Gain

## ■コンポーネントへのアサイン方法

- ①XILICA Designerにて、DSP moduleをダブルクリックしデバイスウィンドウを開きます。
- ②制御したいコンポーネントを、コンポーネントライブラリーから、Drag&Dropして追加します。  
追加したコンポーネントをダブルクリックし、表示されたフェーダーつまみをCtrl+右クリックし「Create 3rd Party Control Object Name」を選択します。



- ③表示されたウィンドウでControl Nameを入力します。入力するControl Nameは、下記を参照してください。



配置コンポーネントによりControl Nameが異なります。

### ・Control Fader : CONFxx

例) LF-SのCh1を使用する場合: CONF1、以降順番にCONF2、CONF3

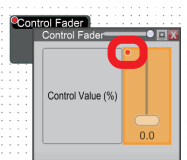
### ・Voltage Controlled Amp : VCAxx

例) LF-SのCh1を使用する場合: VCA1、以降順番にVCA2、VCA3

### ・Gain : GAINxx

例) LF-SのCh1を使用する場合: GAIN1、以降順番にGAIN2、GAIN3

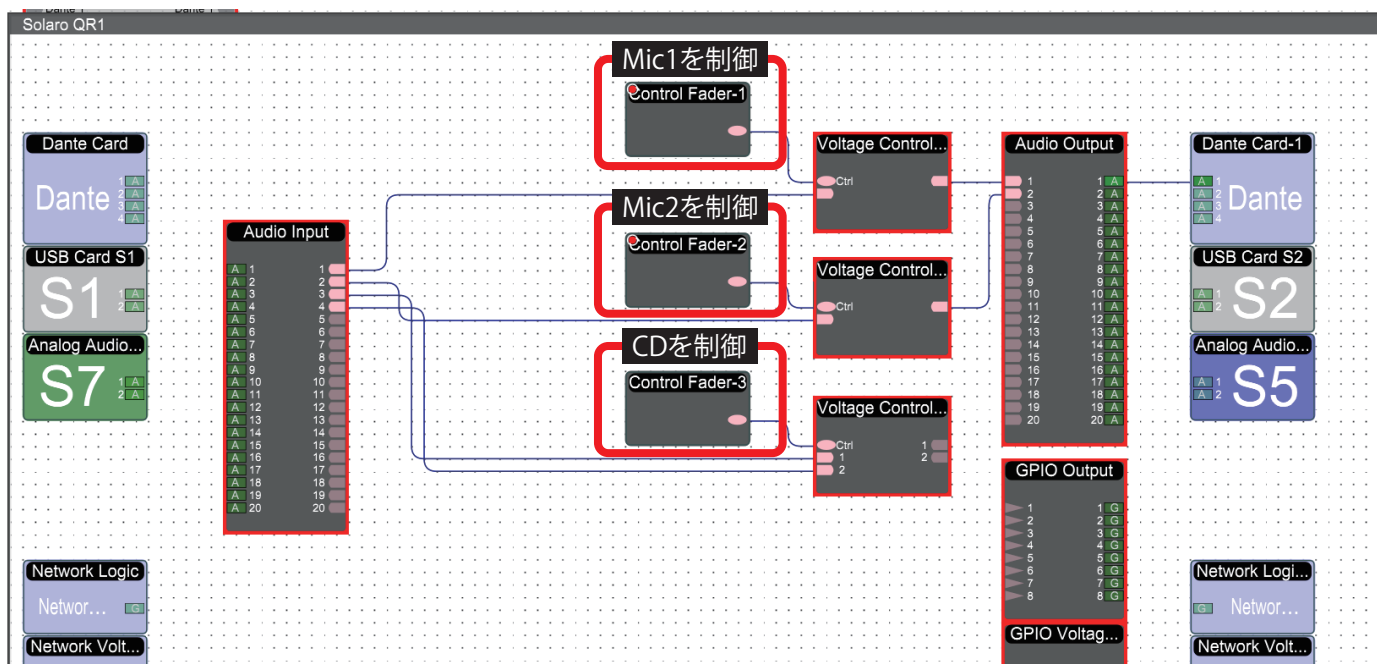
- ④アサインが完了すると、コンポーネントに赤い丸が表示されます。



## ■ ボリュームをコントロールする場合の推奨使用方法

コンポーネント:「Control Fader」を利用して設定を行います。

例) Mic1 (Audio Input1)、Mic2 (Audio Input2)、CD (Audio Input3, 4) を、LF-Sのch1～3でコントロールする



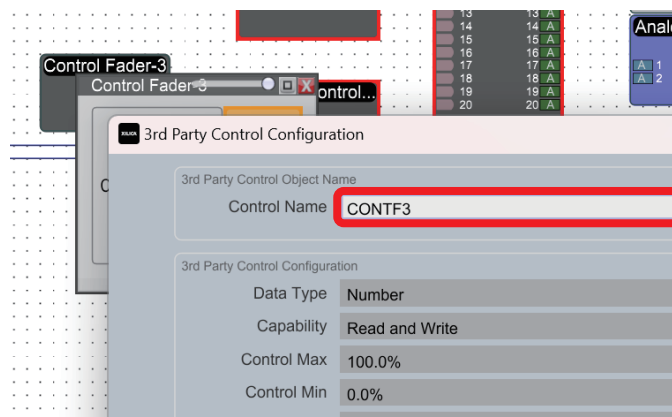
①Control Fader を利用するため、LF-SのDIPスイッチ5.6をOFFに設定する。

②設定するControl FaderのControl Nameを以下のように設定します。

Control Fader1=CONTF1

Control Fader2=CONTF2

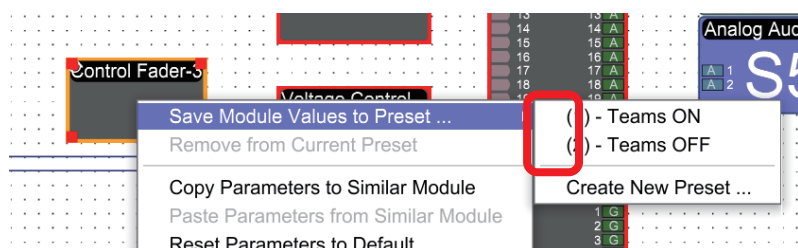
Control Fader3=CONTF3



## ※Preset Recall機能をご使用の場合の注意点

PresetのRecall時に、Solaro QR1の値とLF-Sのフェーダー値がずれるのを防ぐため、






Control Nameを設定したコンポーネントをPresetに含めないことを推奨しています。(✓がないことを確認)



## 1台のSolaroシリーズに対して、複数台のLF-Sを使用する場合

1台のSolaroに対して、複数台のLF-Sを使用する場合、DIPスイッチとIPアドレスの設定が必要となります。  
DIPスイッチの設定により、コンポーネントのコントロールネームの番号が異なります。詳しくは下記表でご確認ください。

### ■DIPスイッチによるコンポーネントのコントロールネームに使用する番号の設定

コントロールネームに使用する番号				
	LF08	LF16	LF24	
1 2 3 4 5 6				
	1～8	1～16	1～24	
	9～16	17～32	25～48	
	17～24	33～48	49～72	
	25～32	49～64	73～96	
	33～40	65～80	97～120	

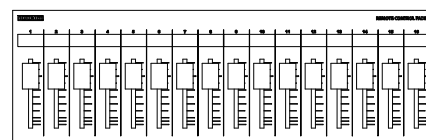
### ■複数台のLF-Sを接続する場合の設定方法

例) LF16Sを2台同時に接続する(コンポーネント:Control Faderを使用した場合)

- ① 1台目のLF16SのDIPスイッチを全てOFFに設定する。



LF16Sのch1で操作するControl NameはCONF1  
LF16Sのch2で操作するControl NameはCONF2  
以下同様に16までとなります。

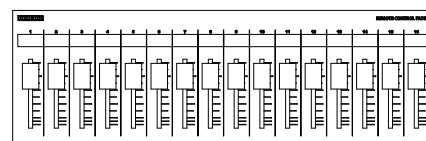


①CONF1～16に設定される

- ② 2台目のLF16SのDIPスイッチを1のみONに設定し、IPアドレスを変更する。  
フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。



LF16Sのch1で操作するControl NameはCONF17  
LF16Sのch2で操作するControl NameはCONF18  
以下同様に32までとなります。



②CONF17～32に設定される

- ③Solaro内のコンポーネントのControl Nameを変更する方法は、2ページ目を参照してください。

※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けください。

複数台のフェーダー間で、Control Nameが重複しないようにDIPスイッチを設定してください。

#### 組み合わせ使用できないDIPスイッチの例

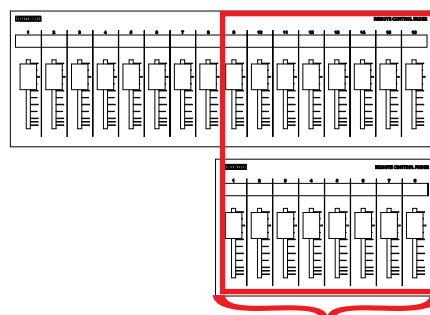
1台目のLF16SのDIPスイッチを全てOFFに設定する。

⇒Control Name CONF1～16を操作

2台目のLF08SのDIPスイッチを1のみONに設定する。

⇒Control Name CONF9～16を操作

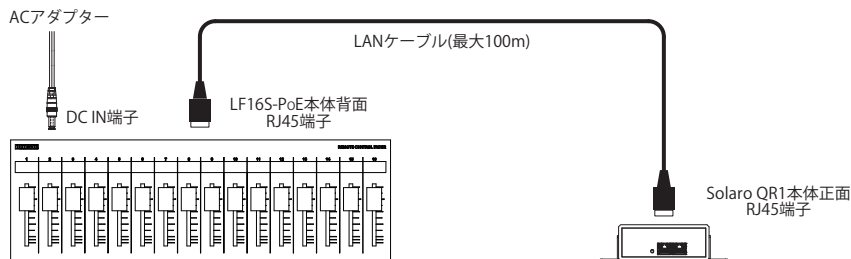
操作するControl Nameが重複してしまうので使用できません。



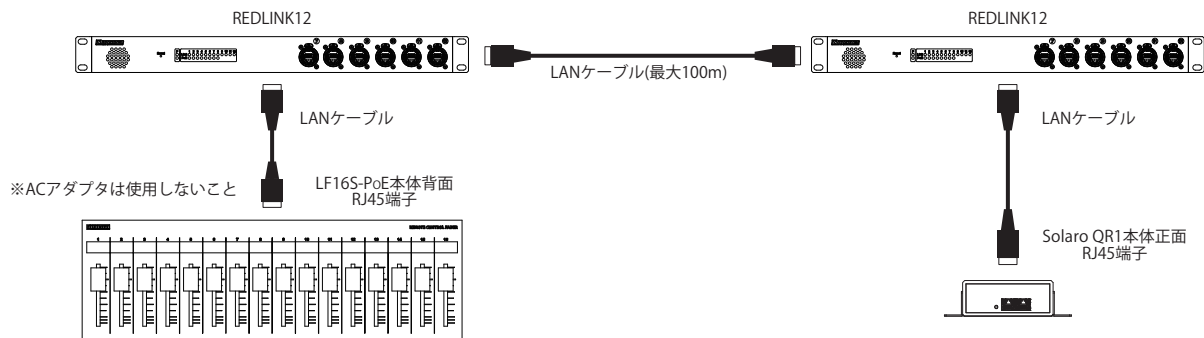
CONF9～16が重複する

## 接続方法

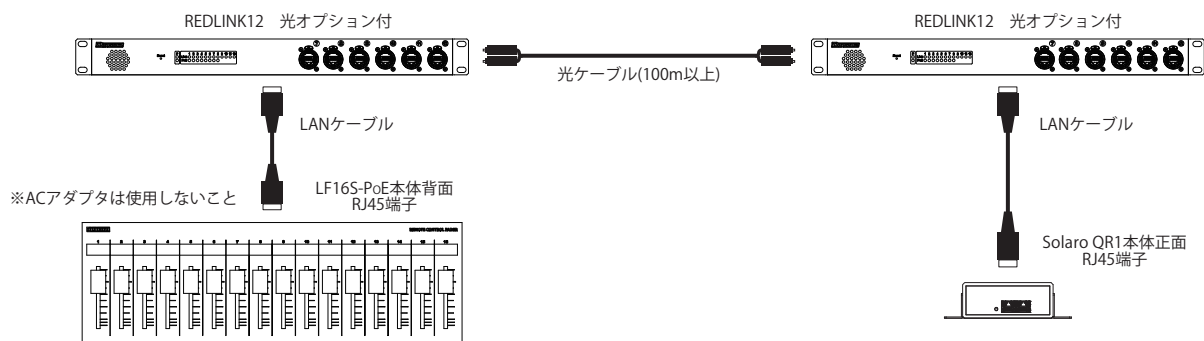
### ■基本接続



### ■スイッチングハブを使用した基本接続① (LANケーブル)



### ■スイッチングハブを使用した基本接続② (光ケーブル)



#### ■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。  
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。  
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。  
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。  
機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。  
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。  
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

#### ■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。  
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

#### ■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。  
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

#### お問い合わせ

#### 有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/

初版:2024年8月